



カトリック長崎大司教区 広報委員会 長崎市橋口町1-1 長崎大司教館内 Tel. 095-843-3869 Fax 095-842-4460 振替口座 01880-5-2699 発行人 山田良秋 印刷所 株式会社 インテックス

教皇様のために 祈りましょう 呼吸器感染症のためローマの病院に2月14日入院された教皇フランシスコの容体はその後もメディアで伝えられ、「容体は安定」(3月19日付パチカン・ニュース)とされていますが、ご回復のために続けてお祈りをいたしましょう。

2025年のご復活の喜びの手紙

子どもたちからのお手紙

大司教 ペトロ 中村 倫明



主のご復活おめでとうございます。

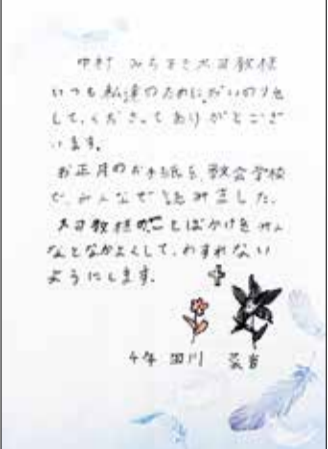
「希望の巡礼者の聖年」をいかがお過ごしでしょうか? 主のご復活こそわたしたちの希望です。主のご復活によって、絶望の死と罪の暗闇の中に、永遠の命と光を頂きました。また、幾多の困難な状況の中にあるわたしたちの長崎教区は、皆さま方からも、多大なるご協力とご支援を賜り、明るい希望を頂いています。ことに感謝を申し上げます。

先日あるシスターから分かち合ってもらった話があります。そのシスターの姪っ子さんが、今年1月号の『カトリック教報』をお母さんに読んでもらったそうです。すると、その小学生の姪っ子さんがお母さんに「お手紙をもらったんだから返事を書かなくてもいいの?」と言ったそうです。姪っ子さんのお気持ち、そして、わたしたしの手紙を伝えてくださったお母さん、ありがとうございます。

子どもたちに 教えてもらったこと

今年2月に行われた平戸地区での堅信式の時、ある教会学校の子どもたちからは、実際にお手紙をいただきました。お友だちの皆さん、ありがとうございます。その中の一つをご紹介します。

中村みちあき大司教様 いつも私達のために、おいのりをしてくださいありがとうございます。お正月のお手紙を、教会学校で、みんなで読みました。大司教様のことばかけをみんなとなかよくして、わすれないようにします。 4年 田川菜音



声かけは友だちになること

先のお二人のお友だちが教えてくれたように、わたしたちが「声かけ」をしたり「握手」をしたりしながら、まず目指していくのは、友だちになっていくということです。たくさんの人と仲良くなっていくことです。

友だちになると、その人にまた声をかけることができますし、その人からも声をかけてもらえます。お友だちになると、楽しいことも悲しいこともつらいこともうれしいことも話せるようになっていきます。そして、わたしたちにとって大切なイエスさまのこと、信仰のこと、教会のことも話すことができるようになるのです。

わたしは以前からずっと「声かけ」することを願っています。しかし、「声かけ」は最終的な目的ではありません。「声かけ」をしながら、まずはわたしたちのたくさんのお友だちを作っていくこと、これがひとまずの目標です。

この復活祭にも、洗礼を受けて、わたしたちの仲間、そしてイエスさまのお友だちになった方々がおられるでしょう。おめでとうございます。その方々は、どなたから「教会に来ませんか」「洗礼をどうですか」と声をかけてもらったはずですか。もっと言うと、その人は神さまから「わたしはあなたを愛していますよ。あなたとともにいますよ。わたしはあなたの友だちだよ」とずっと声をかけてもらっていたんです。洗礼を受けられた皆さまは、今度は、他の人に声をかけて、神さまの言葉を伝えてください。

「声かけ」をあまり意味を感じないか「声かけ」することにあまり意味を感じないか、あるいは「声かけ」にまだまだ勇気が必要な方、どうぞあきらめないうまくまずは「声」を出して、その人と友だちになってみてください。そして教会にお友だちを連れてきてください。そこから、わたしたちすべての者の友だちである希望の光、決してわたしたちのことをあきらめられない復活の主と出会うことができます。

あたたかまって、わたしもあきらめずに声をおかけいたします。「ご復活おめでとうございます。復活なされた主はともにおられます」

おともだちへ

しゅのごぶつかつおめでとうございます。わたしのがみを みなさんがちゃんとよんでくださっていることをしりました。とつてもうれしかったです。そしておがみをくださったおともだちありがとうございます。

あるおともだちは わたしとあくしゅをしたいとかいてありました。 こえをかけるだけでなく、あくしゅまですると、 もっとおともだちになりますよね。 こえをかけてをつないでいくこと、 このたいせつなことを おとなのひとたちにも、 もっともつとおしえてくださいね。

みなさんは「あいしているよ」と かみさまからこえをかけてもらい、 かみさまから ギュっつとだきしめてもらっています。

ほしかげ

アプリを飲み始めて、からだの調子が良くなったような気がする。本当に効いているのか、思い込んでいるのか分らないが、続けてみようと思う。言い添えておくが、もし、栄養が足りていないという場合、それは賄いのシスターのせいではない。シスターはちゃんと食事を作ってください。残したりしているわたしのせいである。シスターいつもありがとうございます。ユダヤ人たちは、薬を使用し効果がでると、そこに神さまの働きを見いだす、と何かで読んだ。物事に潜む神さまの働きを大事にしているのだらう。第一原因たる神に、彼らは敏感だ。そして、これはわたしたちにもできる。薬を使用し、効果が出る、そこに神さまの働きを感じる。すると、それはからだの健康だけでなく、霊的な健康にもなる。医療にだけでなく、神さまによって生かされている、という感覚。これにはいろんなものが当てはまる。食事もそうだし、生活にあふれているあらゆるものがそう。神さまがお造りになったものを、人間が見つけ知恵を絞って加工し、わたしたちの生活を支えている。わたしたちの周りは、神さまと人の共同作業にあふれている。▲聖年と被爆80年に当たり、この希望を大事にしたい。神さまによって生かされているという、希望。いつもわたしたちは神さまの働きの内にあり、協力できるという、希望。(馬)

2024年度 第3回臨時司教総会

日本カトリック司教協
議会は、2月17日(月)
から20日(木)まで東
京・日本カトリック会館
で2024年度第3回臨
時司教総会を開いた。全
15教区の司教全員が参加
した。

主な報告事項

▼「日本の教会における
司祭生涯養成プログラム
B」実施 司祭叙階後十
数年〜二十数年を経た司
祭を対象として、生涯養
成プログラムを1月14日
〜28日にフイリピンで実
施したことに伴って担当
司教3人が報告した。
▼聖職者による性虐待の
問題で、司教協議会と修
道会協議会の間での覚書
締結を検討 昨年4月に
日本の司教団が行ったア

継続している。同チーム
は日本のカトリック教会
がさらに「シノドス的」
(ともに歩む)教会とな
るため今年6月の司教総
会で提言を行う。

主な審議事項

審議では、『ミサの式
次第(2022年新版)』の
実施に伴って改訂が必
要となった『堅信式』と
『ミサ以外のときの聖体
拝領と聖体礼拝』の改訂
案を検討した。『堅信式』
については本総会で出さ
れた諸意見を加味して修
正したものを日本カト
リック司教協議会として
認可し、認証のために教
皇庁典礼秘跡省に提出す
ることを承認した。
『ミサ以外のときの聖
体拝領と聖体礼拝』につ
いても承認されていな
かった第2章と第3章の
改訂を審議、修正を加え
て承認した。
そのほか、カトリック

2020年
「被爆75年から
5年間のチャレンジ」
<https://nuclear-free.net/>
核なき世界基金

人事異動・任命

(一)は前任地 (二)は備考など

- ▼コンベンツァル聖フランシスコ修道会 (4月1日付)
松永 正男師 湯江修道院(鹿児島・奄美修道院)
松田清四朗師 聖母の騎士修道院
古川 政孝師 湯江主任(那覇教区・開南主任)
山浦 義春師 東長崎主任(鹿児島・奄美修道院)
金 熙一師 鹿児島・奄美修道院(東長崎主任)
中野里晃祐師 本河内主任 (聖母の騎士修道院所属)
- ▼聖アウグスチノ修道会(4月21日付)
マイケル・ヒルデン師 城山助任 (福岡教区・笹丘主任)
- ▼フランシスコ会(4月)
ベラルド・ヤン師 東京・聖アントニオ修道院 (長崎修道院)
- ▼神言修道会(4月1日付)
品田 豊師 西町助任 (名古屋・神言神学院、管区会計)
ネルソン・アブライ・バルバラナ師 新潟教区・鶴岡主任 (西町助任)

「セーフガーディング」 司祭研修会で学ぶ



「セーフガーディング」
についての話があつ
た。
続いて、フランシス
コ会の村上芳隆師(写
真、本原教会主任)を
講師に、「セーフガー
ディングの広がりを目
指して」のテーマで講
演が行われた。
セーフガーディン
グとは、単にプロテク
ティングする(守る)
以上のもので、安全な
空間と安全な人間関
係を造り出すことで
あり、それはイエスに
よってもたらされたも
のであることなど、教
皇庁立グレゴリアン大
学の人間学研究所(I
ADC)での研修体験
を交えながら約1時間
にわたり解説した。
最後に、諸委員会か
らの連絡があり、研修
会を終了した。



カトリック新聞 週刊休刊へ

ウェブサイトで月刊の紙媒体

4月から新たに開始

世界や日本のカトリック教会のニュースを伝え、
多くの人々が長年愛読してきた週刊「カトリック新
聞」が、今年3月30日付をもって休刊。3月9日付
発行の同新聞紙上で「4月からのニュース提供につ
いて」と題し、「4月以降は、インターネットと、月
刊の新しい紙媒体を通して国内外のカトリック教会
のニュースが配信されることが伝えられた。
ニュースを配信するウェブサイトは「カトリック
ジャパンニュース(CJN)」月1回発行される新
たな紙媒体の名称は「カトリックジャパンダイジェ
スト(CJN-D)」として、4月にスタートする。
また、教会外の方にカトリック教会を案内するた
めのウェブサイトを「カトリックジャパンポータル
」(CJP)も始まる予定という。
転載の許可をいただいた3月9日付カトリック新
聞の記事を、以下に掲載する。

4月からのニュース提供について

カトリック新聞ご購読者の皆様

主の平和

いつもカトリック新聞をご愛読いただきまして、ありがとうございます。

昨年3月にお知らせしました通り、週刊カトリック新聞は今年3月末をもって休刊とさせていただきます。長くカトリック新聞を支えてくださった読者の皆様に、深く感謝申し上げます。

4月以降は、インターネットと、月刊の新しい紙媒体を通して国内外のカトリック教会のニュースが配信されます。

ニュースを配信するウェブサイトは、「カトリックジャパンニュース(CJN)」として4月にスタートします。カトリック新聞が伝えてきた教皇の発言やバチカンの動き、国内外のニュース、福音解説などが配信され、スマートフォンやパソコンで、どなたも無料で読むことができます。

月1回発行される新たな紙媒体の名称は「カトリックジャパンダイジェスト(CJN-D)」です。「カトリックジャパンニュース」で配信された記事のダイジェスト版として、月1回、全国の教会、修道院、カトリック学校、カトリック施設に無償で配送されます。

また並行して、教会外の方にカトリック教会を案内するためのポータル(入り口)となるウェブサイトとして、「カトリックジャパンポータル(CJP)」も始まる予定です。

これらの配信、発行はカトリック中央協議会が行います。

「カトリックジャパンニュース」(以下・「ニュース」)は4月1日からスタートし、紙媒体の「カトリックジャパンダイジェスト」(以下・「ダイジェスト」)は、5月最初の主日(4日)までに配送します。「ダイジェスト」は各教会で入手できるほか、「ニュース」のウェブサイトからも閲覧できます。

最後までご愛読くださった皆様に感謝を込めて

カトリック新聞の最終号(3月30日付)まで定期購読を継続してくださった個人の皆様には、これまでのご愛読に感謝を込めて、4月から3カ月間、「ダイジェスト」を1部送らせていただきます(月刊で計3回)。ぜひお読みください。その後はインターネット、あるいは各小教区に配送される「ダイジェスト」をご利用ください。さまざまな理由で教会まで行けない方にも必要な情報を届けるために、各共同体が「ダイジェスト」を活用してくださるよう、各教区の司教様を通して呼びかけて参ります。(この件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。)

TEL.03-5632-4435 FAX.03-5632-7030

2025年3月9日付カトリック新聞から

赤城墓地
小家族様
分譲中
長崎石彫 岩永
095-862-2469

株式会社サンフールド・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611

主の平安
株式会社 五島式典社(齋場) 五島中央会館
代表取締役 ヨゼフ 浦 昭
24時間営業
五島市上大津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551
FAX (0959) 74-5552
五島市奈留町浦 1899-1 TEL (0959) 64-3101
FAX (0959) 64-3102

相続登記はお済みですか
土地・建物・会社・法人の登記手続 相続手続
遺言書の作成 相続土地の国庫帰属手続 など
まずは、お電話を!!
司法書士 行政書士 山下 緑 事務所
ミカエル 山下 緑
〒854-0014 諫早市東小路町10-21 電話 0957-22-6177

内科・循環器科
医療法人 平田クリニック
院長 ヨゼフ 平田哲也
通所リハビリテーション
上野町グループホーム・サービス付き高齢者住宅
長崎市長野町1-5 TEL 095-845-6175

マイホームの美容と健康に!
(有) 山川 塗装
有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事
代表取締役 ベトロ 山川 進
佐世保市原分町1715-5
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

カトリックセンターから長崎大司教館へ移転した事務所 4月1日からの業務時間のご案内

【1階】

総合受付 日～土曜日 毎日 08:00～18:00

電話 095-843-4188(代表)
FAX 095-843-4322

法人事務所(会計事務室) 日曜日は休み
祝祭日も含む月～土曜日 08:30～17:30

電話 095-846-4248 FAX 095-848-8310

【2階】

教区本部事務局・諸委員会 土・祝日は休み
日～金曜日 08:30～17:30

電話 095-842-4450 FAX 095-842-4460

生涯養成委員会 講座などを除く土・日・祝日は休み
月～金曜日 08:30～17:30

電話 095-841-7731 FAX 095-842-4460

広報委員会 土・日・祝日は休み
月～金曜日 08:30～17:30

電話 095-843-3869 FAX 095-842-4460

《住所》カトリック長崎大司教館内
〒852-8114 長崎市橋口町1番1号

※住所、ファックス番号は2025年2月1日から上記の通りとなっています。お間違いがないよう皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



今年(昭和27年)の青年黙想会は、聖年と被爆80年という特別な一年の中で行われるものとして、「如己愛人」の隣人を自分のように愛し、

平和の実現は「愛の実践」のうちに

教区青年黙想会で学び、分かち合う

3月9日(日)教区青年黙想会が実施され、メロン記念館の館長永井隆三氏を招いて行いました。午前中は永井館長による講演があり、永井隆三氏の生涯と業績、そして託された平和のメッセージを青年と分かち合っていました。

最後に中村大司教様司式によるミサで、平和を実現するための恵みとともに祈りました。永井隆三氏をはじめ、ご協力くださった方々とともに平和について見つめてくれた青年たちに感謝して、ご報告とさせていただきます。

教区青年委員会
川端志範



第145回クルシリヨのご案内

4月21日(月)申込み〆切

長崎大司教区クルシリヨ事務局が主催するクルシリヨが次の通り開催されます。
●5月3日(土)午後6時30分～6日(火)夕方
●お告げのマリア修道会本部
(長崎市小江原4丁目1番1号)
●指導司祭：一ノ瀬輝幸師(早岐教会)
●参加費：2万円
●募集人員：25人(定員になり次第締め切り)
●各小教区にお配りしている案内をぜひご確認ください。



平戸地区合同堅信式が、2月16日(日)午後2時から田平教会で行われ、受堅者24人(佐世保地区から3人参加)が堅信の秘跡の恵みを受けました。

堅信の秘跡の恵みを受けて

平戸地区

平戸地区合同堅信式が、2月16日(日)午後2時から田平教会で行われ、受堅者24人(佐世保地区から3人参加)が堅信の秘跡の恵みを受けました。当日は天候にも恵まれ、信徒、修道者、司祭団合わせて180人ほどが集い、堂内がいっぱいとなる堅信式となりました。

佐世保地区

3月2日(日)、佐世保地区合同堅信式が佐々教会で行われた。受堅者は総勢51人、中学生47人、成人は4人であった。内訳は以下の通り(教会名のみ表記。中学生は(中)、成人は(大)と表記)。黒島(中2)、早岐(中1)、

中村倫明大司教は年間第8主日の福音を解説し、「自分の目の中にある丸太をよく見てみましよう。富武力、権力、不正な欲望等々。それらに気づき、それらを取り除いたら、主イエスはつきり見えるようになりますが、それがキリスト者です」と話した。



天神(中3)、三浦町(中6)、褥崎(中7)、俵町(中2)、大4、大崎(中5)、鹿子前(中4)、相浦(中1)、大野(中5)、神崎(中8)、佐々(中3)。

感謝と喜び、祈りささげる

太田尾教会で選任式



2月24日(月)11時から、森翔真神学生の朗読奉仕者選任式が出身教会である太田尾教会で行われた。中村倫明大司教の司式、約20人の司祭団の共同司式のもと、参加した多くの人々が見守り、感謝と喜びのうちに祈りをささげた。

2人の神学生が卒業

長崎カトリック神学院



2月28日(金)長崎カトリック神学院で中村倫明大司教の司式により卒業式が行われ、長崎教区福江教会出身の中尾誠一さんと、大分教区宮崎教会出身の安部純さんの2人が卒業しました。式には、司祭、シスター、信徒を含め約20人が参加しました。

マリア・アスンタ 大石ミヨ子修道女

(純心聖母会)



2月3日逝去。93歳。1931年平戸市生まれ。53年初誓願、62年終生誓願。初誓願後、幼児教育の

分野で教諭として主任として、子どもたちや保護者、教会の信徒の方々と交わりの中で宣教活動に励んだ。その後は福祉施設での医療事務、那須黙想の家の管理など、いただいた務めを喜んで果たした。

2005年から入退院を繰り返す中、今年1月初めに容体が悪化、2月3日に静かに御父のみもとに召された。

ドミニコ

下山國光さん

(下山盛朗師の父)



2月11日、老衰のため出津の聖マルコ園で逝去。97歳。

聖マルコ園には3年前からお世話になり、近くに住んでいたことで、父がいつもミサをはじめ秘跡にあずかされたことが一番の幸せなことでしたと感謝を述べた。

また、お店で酒を飲みながらお客と騒ぐのが大好きな父でしたが、普段は人前に出たり目立つ事をしたりするのがすごく苦手な人でしたと、その人柄を語った。

トマス 洪聖範さん

(洪燦基師の父)



2月22日逝去。83歳。1941年ソウル特別市麻浦区孔徳洞(旧京城府孔徳洞)生まれ。

本憲兵によって祖父が亡くなつてから、祖母の故郷である安城市に移住しました。父が育った町には、昔からカトリック信者が殉教したと言われている場所が多かったです。父はヨハネ・パウロ2世の韓国訪問に感銘を受け、当時小学生だった私を連れて殉教地を巡り、殉教地に立たせて、「あなたなら、どうするか」と私に聞きました。

そして、「正義のために命をささげることこそが正しい道だ」などと教えました。この教育の影響で、長崎の殉教者について知るために何度も長崎を巡礼し、それがきっかけとなって、今回、長崎で司祭叙階の恵みを受けるようになりました」と語った。

葬儀ミサ・告別式は2月24日、韓国平澤市碑前洞の教会で行われた。

いごっつ園

聖香油ミサ 4月15日(火)10時30分、浦上教会。

長崎カトリック神学院 故ドミニコ下山國光様

感謝

右の方からご寄付・ご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

2025聖年「メディア界の祝祭」開催 ローマへ、希望の巡礼者となって



昨年12月、「希望の巡礼者」をテーマとする2025聖年が開幕しました。全世界のカトリック教会は今、25年に一度の通常聖年を過ごしています。1年にわたる聖年の期間中、バチカンでは計36のイベントが予定され、その最初が今年1月24日から26日まで開催された「メディア界の祝祭」でした。これに合わせて日本からローマ・バチカン・アッシジを訪問する巡礼への参加が呼びかけられ、5教区14教会から集まった参加者が、日本カトリック司教協議会広報担当の酒井俊弘司教(大阪高松教区)とカトリック中央協議会出版・新聞事業部長の尾高修一神父(長崎教区)とともに総勢31人で1月23日から30日まで、現地を旅しました(旅行企画・実施「阪急交通社・企画協力」カトリック中央協議会広報)。免償が与えられる聖年のこのときに、ローマを訪れ、巡礼者のためのイベントに参加し、4大バジリカの「聖なる扉」をめぐり、聖フランシスコ生誕の地アッシジへ向かう。各々の場所から集まった一人ひとりが「希望の巡礼者」となって同じ時間を共有した数日間について感じたことを、この紙面をお借りし分かち合いたいと思います。(教区広報委員会 鹿山みどり)

「メディア界の祝祭」

1月24日から26日までの3日間、聖年の一番最初のイベント「メディア界の祝祭」がバチカンで開催されました。1月24日はジャーナリスト、著作家たちの保護者、聖フランシスコ・サレジオの記念日にあたります。聖年の公式サイトによると、特にメディアの世界で働くすべての人がこのイベントに招かれているようです。日本からの巡礼団は次のことに参加しました。



写真は上から時計回り…①教皇謁見時、酒井司教が教皇フランシスコに日本の巡礼団の祝福を願って、しるしであるスカーフを祝福していただく②パウロ6世ホールでメッセージを述べる教皇③聖ペトロ大聖堂の「聖なる扉」まで十字架を掲げて祈る巡礼者(以上は1月25日)④ラテラノ大聖堂でのミサ(24日)

「メディア界の祝祭」の「個別のゆるしの秘跡を伴う共同回心式」とミサ。

日本からの巡礼団

25日(土)聖年の扉通過の式。「聖なる扉」から聖ペトロ大聖堂を巡る。パウロ6世ホールで教皇フランシスコの一般謁見。
26日(日)聖ペトロ大聖堂でのミサ。
聖年を迎えている今は特に、世界中から多くの巡礼者が連日バチカンを訪れていること、思いが「メディア界の祝祭」のときもやはりたくさんの人々が集まっています。

心に残った場面

1月24日、ラテラノ大聖堂での「個別のゆるしの秘跡を伴う共同回心式」とそれに続くミサは、とても心に残るものとなりました。★4大バジリカの聖なる扉をくぐる今回の巡礼で、最初に訪れ扉をくぐった聖堂だったこと、もあってか、印象的でした。

個別のゆるしの秘跡は、告解部屋ではなく間隔を空けたそれぞれの場所で行われました。司教や司祭にゆるしを願う求める人々の列、真剣なまなざし、祈る姿、聞こえてくるさまざまな言葉、同時に聖堂内に響く美しい聖歌の歌声、それに続くミサ。すべてのことが神に立ち返る回心への招きとなりました。

広報に関する パパ様のメッセージ

25日、パウロ6世ホールでフランシスコ教皇様の一般謁見があり、このときパパ様はコミュニケーションの大切さを語られました。バチカン・ニュースには次のように記されています。

「コミュニケーションをとるとは、自分のものを他者に与えるために、自分自身から少し外へ出ることです」と教皇は述べた。同時に「コミュニケーションとは、単なるアウトプットではなく、他者と出会うことでもあります」とも話された。

巡礼団のメンバーは、教区や小教区で広報その他さまざまな活動をしている方々、普段から交流がある方や初めて会う方など、また、世代もいろいろでした。振り返ると、ともに歩き、ミサで祈り、大きな声で聖歌を歌い、話して夢中になりながら食事をし、笑顔で声をかけ合っていた毎日でした。ハプニングもありましたが、互いの祈りと協力によって全員無事に一緒に巡礼を終えることができ、素晴らしい時間でした。



右から時計回り…①教皇謁見後他国の巡礼者と握手を交わす酒井司教(1月25日)②アッシジの自然(26日)③聖フランシスコ大聖堂(28日)④巡礼最後のミサと説教で語る尾高神父(29日)

「聖年巡礼 第1日目」
動画は「第6日目」まであります

巡礼でいただいた恵み

巡礼前から酒井司教様は、「私は参加できない方の分も代表して参加する」のだという言葉を度々示してくださいました。

「何よりも、自分一人が個人として行動するのではなく、教会の一員として、つまり天の栄光の教会の聖人たちに伴われ、煉獄の清めの教会の人たちのために祈り、地上の戦う教会の人たち(直接参加できない大多数の人たち)とともに参加する」という意識です(巡礼参加者に向けての言葉)

これにない、私自身も自覚と責任をもって巡礼に臨むことを意識しました。

ローマでの日程を終えた巡礼団はアッシジへ向かい、酒井司教様はバチカン広報省主催のシンポジウム出席のためローマにとどまりました(帰国時に再び合流)。アッシジでは特に尾高神父様がミサやガイドの通訳など何役も務め、巡礼団を支えてくださいました。巡礼中、皆さんは訪問先の様子をカメラやノートに熱心におさめ、ガイドの方の話に聞き入り、互いに感動を分かち合っていました。

「メディア界の祝祭」に合わせたこの巡礼の企画を知ったときは「参加したいけれど、できないだろう」と思っていました。1月、カトリックセンターから大司教館への移転と重なるこの時期に、巡礼への参加を後押ししてくださいました。広報委員長はじめ、すべての、本当にすべての皆様に深く感謝いたします。

希望の巡礼者となって、教会共同体の一人として、これから先も周りの人とともに日々の巡礼を過ごしていきたい、今後の広報の働きの中で少しずつでもお返ししていきたいと思っております。ありがとうございました。

訪れた主な場所 ★は4大バジリカ
【ローマ】 オプス・デイ属人区長座教会/ラテラノ大聖堂★/聖ペトロ大聖堂★/パウロ6世ホール/サンタ・マリア・マッジョーレ教会★/サン・ピエトロ・イン・ヴィンコリ教会/フォロ・ロマーノ/マメルティノ牢獄/ドミニコ・ヴァレリス教会/トレ・フォンターネ/サン・パオロ・フォーリ・ムラ大聖堂(城壁外の聖パウロ大聖堂)★
【アッシジ】 聖フランシスコ大聖堂/サクロ・コンヴェント/サン・タミアノ修道院/アッシジのサンタ・マリア・マッジョーレ教会、福者カルロ・アクティスの墓所/聖クララ大聖堂/サンタ・マリア・デリ・アンジェリ教会

CALIS カリス通信 4月号
教会学校・その他行事傷害見舞金制度のご紹介

教会では教会学校、聖書の勉強、聖歌の練習、遠足、バザー、キャンプ、お泊り会、クリスマス会などの行事が行われます。カリスでは、教会行事に参加される司祭、リーダー、父母、生徒などが行事参加中や、活動場所と自宅との往復途上に被ったケガを補償する「教会学校・その他行事傷害見舞金制度」を提供しております。加入タイプによって、参加者が起こした偶然な事故による賠償事故の補償もご用意しております。

＜主な事故の例＞

- ・イベントを手伝った信徒が転倒して肘を骨折した。
- ・教会学校参加中の学生が転倒して歯が折れた。

カトリック共済システム 有限会社カリス 連絡先 ☎0120-77-0033

＜行事に対する掛金、補償内容＞

- ①日帰り行事(熱中症も対象です)
日帰りの行事では1名あたり掛金10円のタイプと、70円(賠償責任補償付)の2タイプがございます。
- ②宿泊行事(C～Hタイプの場合)
宿泊日数に応じて、1名あたり掛金90円～190円の6タイプがございます。

加入者は小教区、修道院などです。本制度には、毎年500近くの教会学校や各種行事にご加入いただいております。制度は毎年6月1日開始ですが、それ以降も行事ごとにご加入いただけます。

※本ご案内は「カトリック教会学校・その他行事傷害見舞金制度」の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

私たちが、大澤阿紀子 大西晃 毛利玲子 大守りします。服部秀昭 川口 薫神父(顧問)

カトリック共済システム 検索 24TC-007169 (2025年2月作成)

リスク・補償に関してお気軽にお問い合わせください

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市 辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

注文家具の店 家庭祭壇・聖具・祭壇・長椅子・朗読台

佳織木工所

《家庭祭壇ギャラリーOPEN パンフレットもご用意。》

〒857-0032 佐世保市宮田町7-7
☎0956 (23) 1867 代表 ヨハネ 濱口 知博